



私のひとりごと

心の中に青空を。

最近、人に会うたびに、「白髪増えたねえ〜」と言われる。確かに、多くなったことは自覚しているが、そんなに目立つのだろうか…？ 鏡を覗き込むと、確かに。陰気臭い顔をしている。「元々だろう!？」という厳しい突っ込みはご勘弁下さい(笑)

こんなことばかり考えているからだろうか。最近、奥様方向けの白髪染めのTVCMがやたらと目につく。このTVCMは、実に良く出来ているといつも感心させられる。容姿を少しでも良くしたいという女性の心を捉えるだけでなく、こんなおじさんまでもつつい見入ってしまうからだ。

さて、改めて鏡を見してみる。白髪混じりでは、老けて見えるし印象もあまり良くないのでは…。かと言って、全く無いのも不自然だし…。等々、考え出せばキリが無い。色々悩んだあげく、自分のありのままの姿をさらけ出すのが、自然体で一番良いという結論に達したが、そうは言っても、容姿は少しでも良く見られたいという変な根性が顔を出す。しょうもない事で…と思われる方もおられるだろうが、こんなことでも私にとっては、立派な悩みの一つなのである。

そういえば白髪に限らず、最近、悩むことが多くなった気がする。ふと、慌ただしい日々の出来事を振り返ってみると、お客さんからの労いの言葉や感謝の言葉など、「ありがたいなあ〜」と思うこともあるが、他面、心の配慮が行き届かず、お叱りを受けることもあったりする。こんな時、どのように心を収めたら良いのか思い悩むが、次のような川柳を思い出すようにしている。

「意見聞くときゃ頭を下げな。下げりゃ意見が上をいく。」

これは読んで字のごとく、まずは自分から低く謙虚な気持ちになれば、相手とのいさかきも無くなるという意味合いだと思われる。そういえば、悩みなど微塵も感じさせないくらい明るかった、今は亡き母ちゃんが口癖のように言っていた、「どんな事でも、喜んで堪能するんやで。」という言葉が思い出す。言葉こそ違えど、これも同じような意味合いであろうと、今更ながらに母ちゃんの心の大きさに気づかされる。自分はまだまだ…と反省する毎日である。

何だか梅雨らしく辛気臭いお話になってしまったが、こんな曇り空の中でも、せめて心の中だけはスカッとした青空の様でありたいと思っている。

まあ、そうなるまでは、まだまだドタバタと心の中で異種格闘技戦が続きそんなことは言うまでもない(笑)



ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ございました!!

